



会津魂

あの歴史小説家・司馬遼太郎氏は「幕末の会津藩がなかったら、僕は日本人を信用できなかった」と語っています。藩民の気質、節義を頑なまでも守るためには私を滅した日本人の純情を見るのです。今の世に失われた人としてのありようを説いているのだと思います。また、幕藩体制の中でも、小さい国内での軋轢を超えて、世界の海に船出する気概、決然とそれに立ち向かう意志に驚きます。

震災と原発の大事故の中で、東北の人々の我慢強さが世界の人々に感動を与えました。それは、一朝一夕にして培われたものではなく、長い歴史の中で陶冶されて来た魂であったのだと気付かされます。

被災地の中で苦悶する福島県民のみなさまが、持ち前の会津魂で乗り越えて行かれる事を切に祈ります。そして、私達もその志を学んで行くべきことを教えられました。

エリクサー基金でエリクサーをプレゼント

そんな中、自然食の実践や放射能対策に取り組んでいる福島県いわき市の「郷ヶ丘幼稚園」にエリクサーを贈るご縁が出来ました。前山園長先生の嬉しいお声に、生き生きした園児の様子に、心から感動してしまいました。みなさまから戴いたエリクサー基金により、少しでもお役に立てましたことを感謝申し上げます。

新商品の開発

今年は、このエリクサーがらみで懸案になっていましたチッチや酵素作りに少し動きが出てきそうです。既にチッチを出し

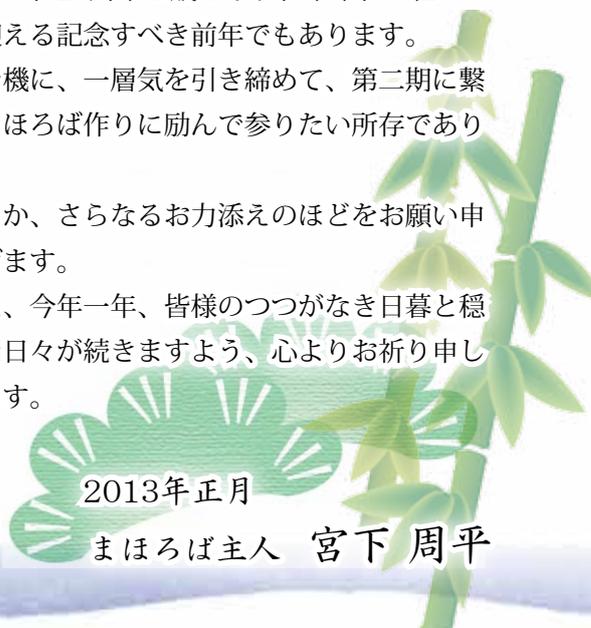


ているレストランや工房が現われ始めています。また、エリクサー水によるフリーズドライの酵母作りに成功して販売される植田家とのコラボも始まります。醗酵では、この春一番に、遂に初のエリクサー水仕込みの醤油『新醬／あらひしを』が『へうげ味噌』と同じ材料で、秋田の石孫本店さんから出荷されます。その他、アパタイト歯磨きをまほろばブランドで出す予定など、新商品が目白押しです。

今年は、29周年の歳であり、来年、一世30年を迎える記念すべき前年でもあります。これを機に、一層気を引き締めて、第二期に繋がるまほろば作りに励んで参りたい所存であります。

どうか、さらなるお力添えのほどをお願い申し上げます。

また、今年一年、皆様のつつがなき日暮と穏やかな日々が続きますよう、心よりお祈り申し上げます。



2013年正月

まほろば主人 宮下 周平

